

## 新潟市の水道の特徴



新潟市の水道事業の、平成18年度の決算値を基に、お客さまに特に関連の深い項目について他の政令指定都市<sup>※1</sup>との比較により、優れた点や、特徴などを紹介します。

※1 市営水道の供給区域が少ない千葉市は除く。

新潟市の有収率や水道料金の収納率は、他の政令指定都市と比べ高い水準を維持しています。

有収水量<sup>※2</sup>1㎡当たりの平均販売単価である供給単価は、静岡市に次いで2番目に安い金額になっており、一般家庭における水道料金は使用した水量によって異なりますが、比較的安価な料金設定になっています。また有収水量1㎡当たりの生産コストである給水原価は、静岡市、浜松市に次いで3番目に安い金額です。

※2 年間の料金徴収対象となった水量。

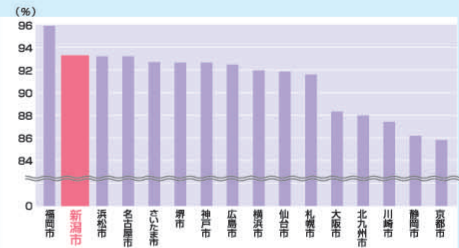
### 有収率 93.26%

[第2位]

●年間の配水量<sup>※3</sup>に対する有収水量の割合(%)を示す数値です。

※3 各浄水場から配水された水量

水道局では経営効率向上のため、水道管の漏水防止対策を進め、浄水場でつくった水道水を無駄なくお客さまへお届けするよう、また水資源の有効活用や漏水量減少による省エネ効果といった環境負荷低減の観点からも、引き続き有収率向上に努めてまいります。



### 収納率 99.93%

[第1位]

●平成18年度における水道料金の総請求金額に対して、滞納整理業務が一旦終了した時点<sup>※5</sup>でのお客さまからお支払いいただいた料金の合計金額の割合(%)を示す数値です。

※4 同一の集計方法をとっていない横浜市は除く。

※5 各都市により集計する時期は異なりますが、新潟市では6月末。

新潟市の収納率は、お客さまのご協力により高い水準を維持しています。今後もお客さまサービスの充実を図り、高い収納率の維持に努めてまいります。

各都市とも決算値としては公表していないため、グラフは割愛します。

○新潟市水道局調べ。

### 供給単価 140.55円/㎡

[第2位]

●有収水量1㎡当たりについて、どれだけ収益を得ているかを示す数値で、平均販売単価を表しています。

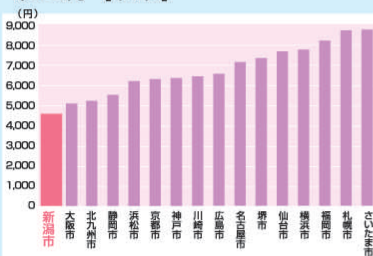
この値が、小さいほど安価に水道を供給したことになります。引き続き安価に供給できるよう努めてまいります。



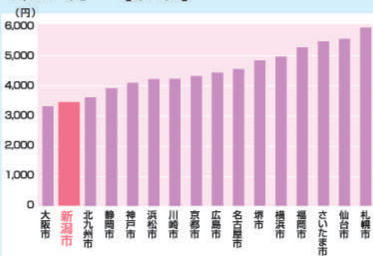
## 一般家庭での水道料金 (税込み)

●口径13mmの水道メーターをお使いの一般家庭において、1か月間に40㎡、30㎡、20㎡使用したときの水道料金。新潟市は、他都市に比べ安価な料金設定になっています。

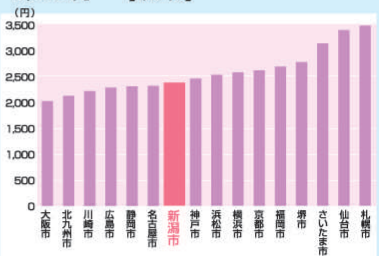
### 1か月間で40㎡使用時の料金 4,599円 [第1位]



### 1か月間で30㎡使用時の料金 3,454円 [第2位]



### 1か月間で20㎡使用時の料金 2,383円 [第7位]



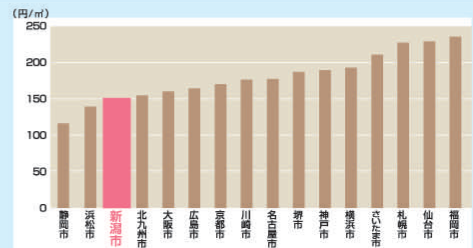
\*水道料金と下水道使用料と一緒に2か月まとめでの請求となります。

### 給水原価 151.69円/㎡

[第3位]

●有収水量1㎡当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを示す数値で、平均製造単価を表しています。

新潟市は比較的低コスト水準にあります。諸物価の高騰などが懸念されているところですが、今後もコスト削減を進め健全経営に努めてまいります。なお、供給単価との差額は料金収入以外の収入で賄っています。



お問い合わせは水道局総務課へ